

カルチュラル・プラットフォーム・ビルダー 人材育成講座：2022年度 メンバー募集



写真：松本美枝子



A. 写真からみる郷土史、言葉であらわす郷土史 講師：宮本晶朗(キュレーター) ほか

身の回りにある郷土史に関して「写真や絵葉書から調査をする」、「写真撮影によって調査する」、「調査結果を文章や短歌であらわす」などのプロセスを通して新しい郷土史を編纂し、山形ビエンナーレの展示の一環として成果を披露します。

B. 街とアート — 商店街ではじまる文化創造プロジェクト 講師：関本欣哉(ギャラリーオーナー) ほか

山形ビエンナーレ会期中に、山形駅前の「大手門通りすずらん商店街」で実施予定の歩行者天国を舞台に、ライブアートや映像表現活動を街ゆく人たちに楽しんでもらうためのアートプロジェクトを企画・運営します。

C. まちのおくゆき — からだのひろがりダンスワークショップ [仮称] 講師：砂連尾 理(振付家・ダンサー) ほか

多様性の受容と調和をテーマに、障がいのある人との様々な協働を展開することで、それぞれの存在や多様な人たちとの関わり合いを大切にしながら、身体で表現する「ダンスパフォーマンス」のワークショップを行い、山形ビエンナーレで披露します。

D. アートの玄関 — ワorkshop創造編 講師：佐藤 香(現代美術家) ほか

山形の自然から得られた情報や素材を活かし、「つくる」「つかう」「あそぶ」「かんがえる」の4つをキーワードにして、アーティストと協働しながら、山形ビエンナーレの「アートワークショップ」と「クラフトワークショップ」を企画・運営します。

■カルチュラル・プラットフォームとは

設備や装置などのハードや、システムやサービスなどのソフトを組み合わせることで構築し、各種文化芸術活動の基盤となる活動環境を差した造語。ポスト・コロナ時代に向けて、変化する社会環境の制約に左右されない新たな仕組みを探ります。

主催：東北芸術工科大学 令和4年度文化庁 大学における文化芸術推進事業



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan



大学から
文化力
POWER OF CULTURE

山形市中心市街地を舞台に、「ポスト・コロナ社会」におけるニューノーマルに対応した新たなアートプロジェクトを企画・実施します。2022年の現在になっても、未だ収束の目処が立たない感染拡大状況のような常に変化する社会環境や、従来型の施設・空間などの制約に左右されない新たなプラットフォームを構築することにより、それぞれの職能や環境を生かしたプロジェクトを一緒に創ってみませんか？



A 写真からみる郷土史、 言葉であらわす郷土史

- 開講日：6/25[土]、7/16[土]、8/6[土]、9/3[土] 13:30～16:45 / 成果発表展：9/3[土]～25[日]
- 会場：東北芸術工科大学、文翔館ほか
- 定員：20名
- 講師：宮本晶朗(株式会社文化財マネージメント代表)
- コーディネーター：三瀬夏之介(本学教授)



B 街とアート 商店街ではじまる文化創造プロジェクト

- 開講日：6/11[土]、6/18[土]、7/9[土]、8/20[土] 13:00～16:00 / イベント：9/4[日]、9/10[土]、9/17[土]
- 会場：土井ビル 2F ほか
- 定員：15名程度
- 講師：関本欣哉(ギャラリーオーナー)
- コーディネーター：青山ひろゆき(本学教授)



C まちのおくゆき からだのひろがりダンスワークショップ [仮称]

- 開講日：6/11[土]、7/9[土]、*8/19[金]～21[日] 13:00～17:00 (*8/19は18:00～20:00) / イベント：9/9[金]～11[日]
- 会場：やまがたクリエイティブシティセンター Q1 ほか
- 定員：10～15名 ■講師：砂連尾 理(振付家・ダンサー)
- コーディネーター：アイハラケンジ(本学准教授)、武田和恵(やまがたアートサポートセンターら・ら・ら)



D アートの玄関 ワークショップ創造編

- 開講日：6/5[日]10:00～13:00(戸神山散策)、6/11[土]、7/3[日] 13:00～16:00 / ワークショップ：9/3[土]～25[日]の複数日 ■会場：やまぎん県民ホールほか(6/5は東北芸工大駐車場集合) ■定員：10名程度 ■講師：佐藤香(現代美術家) ■コーディネーター：安達大悟(本学准教授)、イシザワエリ(本学専任講師)

■お申し込み 2022年5月31日[火] 正午締切

Webにアクセスの上、申込フォームからお申し込みください。
※プロジェクトの詳細は、右下のQRコードからWebをご覧ください。

Webにアクセスできない方は、FAXにより以下の項目を送信ください。
件名を「街とアートのマルチプレイ申込」として、お名前、年齢、住所、電話番号、FAX番号、希望するプロジェクト(A・B・C・Dのいずれか)、応募の動機(文字数は自由)。

FAX：023-627-2081 東北芸術工科大学地域連携推進課

- ・選考結果と初回案内は、6/2[木]までにメールまたはFAXでご連絡いたします。
- ・選考結果に関するご質問にはお答えできません。
- ・ご提供いただいた個人情報は本学で適切に管理し、本事業における諸連絡や資料等送付、文化庁への報告以外の目的には使用しません。

■参加条件と留意点

- ・受講料は無料です。交通費、食事は自己負担となります。無料駐車場の有無は会場によって異なります。
- ・原則として参加希望するプログラムの全日程にご参加いただける方。※欠席の補講対応等はいたしません。
- ・アートやデザインによる地域づくりに関心がある方を対象としますが、専門的な技術・経験の有無は問いません。
- ・応募者数に関わらず、応募の動機(申込時に入力)による選考を行います。
- ・活動の様子を撮影しウェブサイトや報告書等に掲載する場合があります。
- ・プロジェクトの運営に支障をきたす行為等が見られる場合、継続しての受講をお断りする場合があります。
- ・対面での実施を想定していますが、感染状況に応じてZoom等のリモートに切り替える場合があります。

■お問合せ：東北芸術工科大学地域連携推進課
〒990-9530 山形県山形市上桜田三丁目4番5号
TEL:023-627-2091 / E-mail: museum@aga.tuad.ac.jp

